

## 異文化体験記

◎和歌山県職員による「異文化体験記」です。

皆さん、こんにちは。和歌山県から中国・山東省に派遣されている梶本と申します。今回の異文化体験記では、皆さんに山東省濰坊市（いぼうし）について簡単にご紹介させていただきます。

濰坊市は山東省の中心部に位置し、面積 15,859 km<sup>2</sup> 人口約 850 万人を擁しています。昨年9月末にここ濰坊市で中日韓産業博覧会というイベントが開催され、この運営に携わるために昨年8月、9月の2ヶ月間濰坊市に滞在し、濰坊市政府で研修を受ける機会をいただきました。



初めて濰坊市を訪問してまず驚いたのが写真の光景です。電車で濰坊市に向かったのですが、濰坊駅が近づくにつれて車窓には視界に収まりきれない一面のビニールハウスが広がりました。

山東省は中国国内第一位の農業生産額を誇る農業省であり、その中で野菜の一大産地となっているのがここ濰坊市です。濰坊市ではこれら農業用ハウスを活用して年間を通して様々な野菜が生産されており、毎日約4万tもの野菜が全国各地に出荷されています。現地政府の方のお話によると、北京市で1日に消費される野菜のうち約半分は濰坊市から出荷されているというから驚きです。

また、濰坊市では毎年4月中旬から5月中旬まで中国国際野菜科学技術博覧会が開催されており、私も先月久しぶりに濰坊市を訪問して博覧会を見学してきました。博覧会では多くの新品種の農産物や農業の最新技術が展示されるとともに、様々な生の野菜を使って世界各地の風景がオブジェとして表現されており、会期中は毎日10万人近くの来場者で賑わったそうです。



濰坊市は宮崎県日向市と姉妹都市を結んでおり、今年で姉妹都市提携30周年を迎えます。今回濰坊市を訪問したのが熊本地震発生後で、こちらでも震災が大きく報道されたこともあり、濰坊市の方からも被災地や日向市の方を心配するたくさんの声や寄付を行ったというお話をお聞きしました。善意に感激するとともに、地域間の繋がりの深さを強く感じました。

〈梶本堅史郎（平成28年4月より山東国際海峡旅行社にて民間企業研修中）〉